

# 川崎床固工 (徳島県三好市池田町川崎)



(完成予想)

## 【事業の概要】

一級河川吉野川とその支川祖谷川の合流点付近に位置する三好市池田町川崎地区は、アユをはじめ多くの魚類が多数生息しており、近隣の小中学校の子供達の自然体験活動や周辺住民の憩いの場となっております。このような状況から平成16年6月に市民による「川崎水辺の楽校プロジェクト推進協議会」が設立され、水辺で行う子供達の遊びや自然体験活動に関するプラン、整備の内容等を盛り込んだ「水辺の楽校構想」が作成され、「川崎水辺の楽校」として登録されました。

四国山地砂防事務所では、床固工及び護岸工の整備を実施し、河川水辺を活用した環境学習や自然体験活動の推進を目的とした「水辺の楽校」プロジェクトを支援しています。

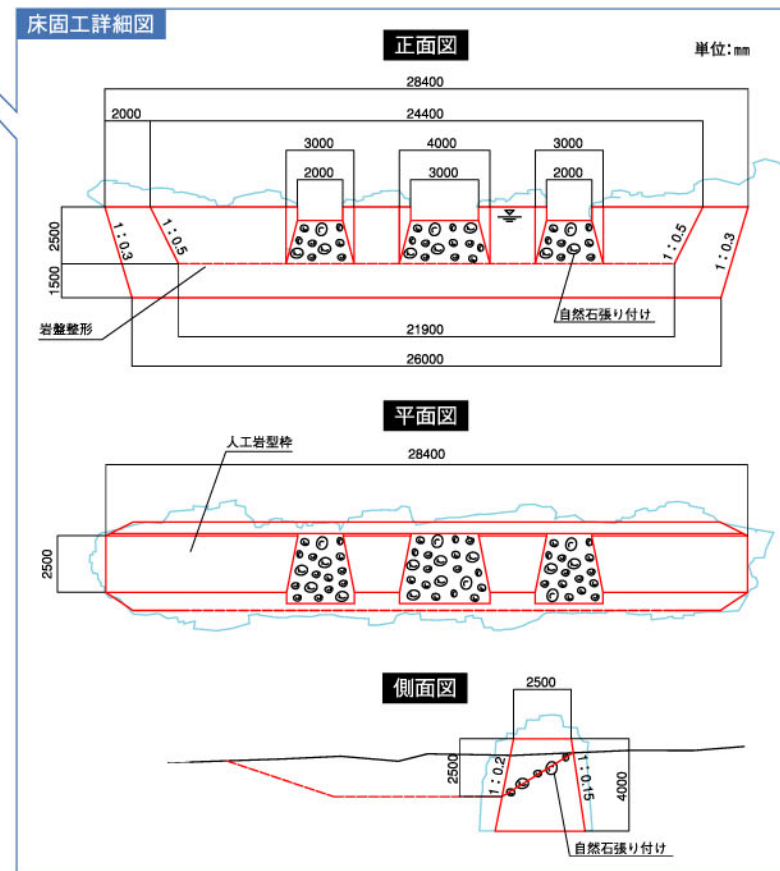
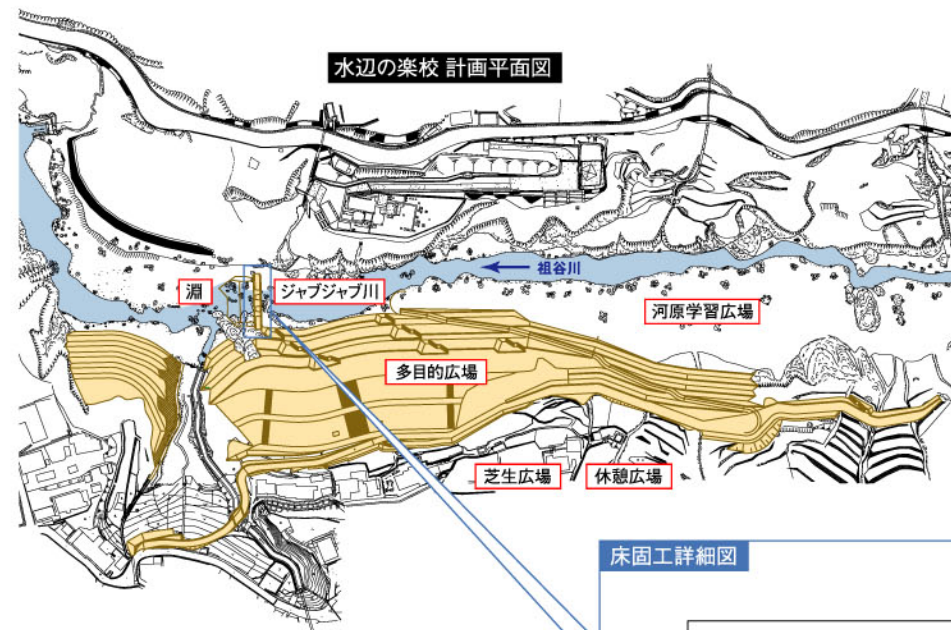
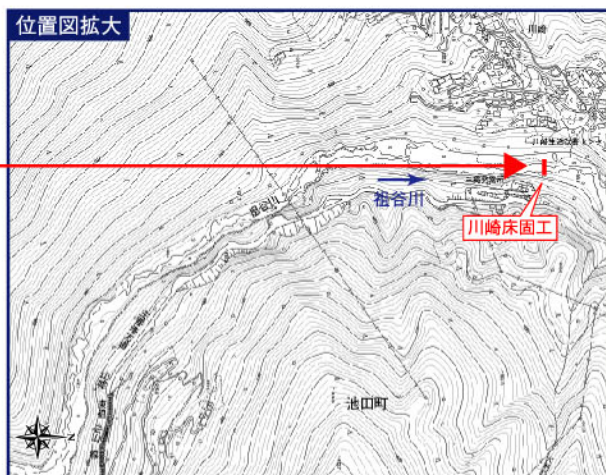
また、川崎地区の周辺一帯は、地すべり防止区域となっており川の法部分は天然河岸で危険な状態となっているため、床固工及び護岸工の整備により地区の安全度の向上も図っています。

## 【水辺の楽校プロジェクトとは】

国土交通省河川局では、地域の個性やニーズに対応した治水事業の一層の展開を図るため、「水辺の楽校プロジェクト」「桜つつみモデル事業」等、地域との連携によりハードとソフトを一体的に整備する事業を推進しています。

「水辺の楽校プロジェクト」は、子供たちが水辺での野外学習を楽しめる環境を整備する事業です。

平成18年3月、「川崎水辺の楽校」が「水辺の楽校プロジェクト」として認定され、三好市と四国山地砂防事務所が一体となって、床固工や公園整備事業を展開していきます。



## ■川崎床固工

河床の安定や河岸崩壊の防止を目的に床固工や護岸工の整備を推進するとともに、自然観察や環境学習等の自然体験活動を支援するため、淵や浅瀬(ジャブジャブ川)の整備、水辺までのアクセス向上のための親水階段やバリアフリーに配慮したスロープの整備、川と親しむイベントや学習の拠点となる広場の整備などを三好市と四国山地砂防事務所が一体となって展開していきます。

## ■流域諸元

流域面積	366.0km <sup>2</sup>
平均渓床勾配	1/5

## ■川崎床固工計画諸元

計画流出土砂量	97,650m <sup>3</sup>
施設効果量	28,800m <sup>3</sup>
形式	床固護岸
整備延長	L=450m
水通し標高	92.5m

## ■施設の特徴

### ①施設整備計画

施設整備計画にあたっては、地元住民を主体とする市民団体「川崎水辺の楽校プロジェクト推進協議会」や河川管理者、事業主体である国土交通省四国山地砂防事務所を含む「子供の水辺協議会」のメンバーで活動内容を議論し、その内容を踏まえ施設計画を行いました。今後は、さらに具体的な「子供の水辺」としての活動内容についての協議を進めていく予定です。

### ②景観への配慮

床固工の表面には人工岩型枠を使用し、自然環境との調和及び施工性の向上を図っています。



大きな安全—山系四国

## 国土交通省 四国地方整備局 四国山地砂防事務所

〒779-4806 徳島県三好市井川町西井川68-1  
TEL.0883-72-5400 FAX.0883-72-5741

URL <http://www.skr.mlit.go.jp/sabo/>



このパンフレットは自然環境に配慮して、再生紙と大豆油インキを使用しています。